

# 広報すみれ

No. **21**  
June 2015



『一日一日を大切に過ごしたい』  
夏椿のように

## 特集1

山本 利彦・藤枝すみれ会理事長 挨拶

## 特集2

社会福祉法人藤枝すみれ会 第2回理事会・評議員会

## 特集3

西部すみれの家開所式／新しい仲間・新任職員の紹介

## 特集4

地域との繋がり／TOPICS



## 「輪(和)」

理事長 山本利彦

二十七年度が始まり、早くも二ヶ月余りが経過しました。すぐそこに暑い暑い夏が近づいています。体調管理を万全に、しっかり乗り切ってくださいませよう。

おかげ様で、新しく開所した西部すみれの家も順調に運営され、いよいよ焼き菓子の製造販売が本格的になって来ました。

好評な焼き菓子だけに、す

みれの家の顔、柱に育てていきたいと思っております。是非皆様のご協力をお願いいたします。

さて、先月五月二十五日に、今年度二回目の理事会評議員会が開催され、二十六年度事業、決算報告、二十七年度の事業計画と収支予算が審議され、原案通り承認されました。

この席では、議案以外にも活発な意見交換がされ、たいへん有意義な会となりました。これからも貴重な意見を聞かせていただければ幸いです。委員の皆様ありがとうございます。四月以降、各所で総会や新年度に向けた活動等の打合せと、会合に出席する機会が数多くありますが、その中で先日、大手ゼネコンの社長さんの話が、印象に残り私達にとっても参考になる内容でしたので紹介します。

「私の希望は、仕事に係わる全ての人が喜びを感じ、明る

く楽しく仕事ができる職場にしたい。職員は勿論のこと、男女を問わず皆で喜びを感じながら仕事に従事してほしい、また、元請・下請も問わず係わる全ての人が幸せを感じて仕事をしてほしい。それが私の希望・願いです。」とあいさつされました。

私達すみれ会においても、同じことが言えると思います。職員間、職員と利用者さん、お父さん・お母さん、市や県の担当の方々、そして施設の所在する近隣の住民の皆様と私たちを取り巻く大勢の方々、喜びを感じ、幸せを感じることが出来るよう、全員で気配りをし、お互いを助け合い、小さな一つひとつを結びつけ、大きな輪(和)を作り出す事こそ私達の望み、夢なのではないでしょうか。

新年号でも触れましたが、明るく、楽しい藤枝すみれ会を地域や関係の方々の力を借りて、共に作り上げ、信頼さ

れ、可愛がっていただける作業所にしていきたいと切に願っています。

追伸 すみれ会も二十六年度はいろいろと経験を積む機会に恵まれ、運営していく事の難しさも楽しさも味わう事が出来ました。この経験を生かし大きく飛躍する年にしていきたいと思っております。皆様のご協力を新ためてお願いいたします。



## 平成27年度 第2回社会福祉法人 藤枝すみれ会 理事会評議員会

日時 平成27年5月25日（月）  
午後6時30分より  
場所 西部すみれの家にて開催



社会福祉法人藤枝すみれ会 会合の場

平成二十七年度 第二回社会福祉法人藤枝すみれ会理事会、評議員会が西部すみれの家にて行われました。理事会では、第一号議案から第三号議案について意思決定を求めめるものであり、評議員会では第一号議案から第三号議案までの議案事項について意見徴収するものとし、報告事項は時機に応じた事象の報告を行うもので各々活発な議論の上、可決、承認されました。

### Ⅱ 議事Ⅱ

#### 第一号議案 定款変更について

##### 議事事項

新築した西部すみれの家の建物について基本財産に編入するため、また、同土地について取得時の地目「田」から「宅地」へ変更したことに伴い定款の一部に変更が生じたための提案を事務部門長より

説明いたしました。

#### 第二号議案

#### 平成二十六年社会福祉法人 藤枝すみれ会事業報告について

##### 議事事項

平成二十六年の事業執行についての承認を求めたものでありと総括事業長より説明いたしました。

平成二十六年藤枝すみれ会障害福祉サービス事業報告を通所部門長より説明いたしました。

#### 第三号議案

#### 平成二十六年社会福祉法人 藤枝すみれ会 障害福祉サービス事業に係る決算報告及び平成二十六年の監査報告について

##### 議案事項

平成二十六年の事業執行に伴う一般会計、就労支援事業会計並びに特別会計における収支決算についての説明を会計責任

者より説明いたしました。監査結果の報告を監事より報告がありました。

### Ⅱ 報告事項Ⅱ

西部すみれの家創設事業最終報告について総括事業長より説明いたしました。

『五月二十五日』

決算業務監査の様子



平成二十六年 決算報告  
 (自平成二十六年四月一日至平成二十七年三月三十一日)

貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	226,089,728	流動負債	125,213,708
（内たな卸資産）	104,978	固定負債	17,849,000
固定資産	215,263,080	純資産	298,290,100
(内設備整備等積立預金)	10,000,500	次期繰越活動収支差額	87,721,075
合計	441,352,808		441,352,808

事業活動収支計算書

支出の部		収入の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
就労支援活動支出	8,570,370	就労支援活動収入	8,508,215
福祉事業活動支出	147,678,431	福祉事業活動収入	163,518,641
事業活動外支出	80,632,174	事業活動外収入	80,530,077
特別支出	87,443,280	特別収入	104,639,581
合計	324,324,255	合計	357,196,514
当期活動収支差額			32,872,259
前期繰越活動収支差額			26,699,816
当期末活動収支差額			59,572,075
設備整備等積立金取崩額			38,149,000
その他の積立金積立額			10,000,000
次期繰越活動収支差額			87,721,075

資金収支計算書

支出の部		収入の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
就労支援事業支出	8,508,215	就労支援事業収入	8,508,215
福祉事業支出	220,390,056	福祉事業収入	241,899,198
施設整備等支出	162,107,570	施設整備等収入	105,002,177
財務活動等支出	12,151,000	財務活動等収入	58,149,000
合計	403,156,841		413,558,590
当期資金収支差額			10,401,749
前期末支払資金残高			90,369,293
当期末支払資金残高			100,771,042

藤枝すみれ会  
 平成二十六年 事業報告

平成二十六年度は、次のような取り組みを行いましたのでご報告いたします。

一、重点施策に対する具体的な取り組みについて

(一)法人事業の円滑な運営  
 (二)西部すみれの家の建設  
 (三)グループホームの開所の三点を取り組みました。具体的な内容は次の通りとなります。

(一)法人事業の円滑な運営

①組織の再編としてこれまでの各事業所の所長を廃止し、職務名も変わり、大きな変革の年となりました。組織体制の管理監督者について、事務長、次長、所長、事務長代理、副所長、サービス管理責任者を廃止し、総括事業長、通所部門長、副通所部門長、地域生活部門長、事務部門長、サービス管理責任者、会計責任

者を置き、各管理監督者の職務を以下の通りとしました。

・総括事業長は、理事長の命を受け、法人運営の統括を行う。

・通所部門長は、理事長の命を受け、管理者（施設長）として、所管部門運営の統括を行う。

・地域生活部門長、事務部門長、副通所部門長は、通所部門長の命を受け、所属職員の指揮監督を行う。

②新会計基準に向けた会計処理の円滑化を図るため、会計責任者・小口現金出納員を本部に集約しました。また、新会計処理の研修に参加するとともに、新会計基準への移行スケジュールに基づいて移行準備を実施しました。

③職員の育成（職員研修の開催）

管理者等の期中面談を実施し、外部研修等の情報提供を

するとともに、研修報告により情報の共有化を図りました。

#### 【内部研修】

職員研修計画に沿って、法人全体を対象とする職員研修及び事業所ごとに実施する職員研修を行いました。全体研修、介護と就労に分けたグループ研修、事業所ごとに行う研修の三形態で実施しました。外部講師による研修を二回実施しました。

一．総括事業長・通所部門長・地域生活部門長・事務部門長・サービスマネージャーを対象とする、外部講師による人事労務管理等の研修を実施しました。

二．「社会福祉法人みぬま福祉会川口太陽の家工房集」副施設長の講演会を開催しました。

#### 【外部研修】

障害者虐待防止権利擁護研修、自閉症支援講座、就労支援

スキル向上研修・基礎研修、製菓知識研修、介護職のための薬の基礎知識、経理基礎講座、てんかん専門職セミナー、サービスマネージャー研修、外部施設見学等を実施しました。

(二)西部すみれの家の建設について

・建物概要・鉄骨造 地上二階建 延床面積四三二、二八㎡。

・利用定員、就労移行支援 定員十名・就労継続支援B型 定員十五名。

・工事着工：平成二十六年九月一日

・工事完成：平成二十七年二月二十四日

・竣工式：平成二十七年三月十九日

・平成二十七年四月一日開所

資料として西部すみれの家創設事業最終報告の収支決算書にてご報告いたします。

(三)グループホームについて

建築基準法及び消防法の改正等により当初計画から大幅な変更を余儀なくされたこと、返済計画が確定には至らなかったこと等により、九月二十六日の理事会・評議員会において、本事業計画の取り下げが決定されました。

二．通所事業所のサービス内容の変更

東部すみれの家は、就労継続支援B型のサービスを廃止し生活介護サービス単体事業所として、支援内容の充実に向けた取り組みを行いました。南部すみれの家、北部すみれの家は、これまでのサービスを実施いたしました。

#### 三．会議

(一)理事会・評議員会の開催

理事会、評議員会を五月、八月、九月、十一月、平成二十七年一月、三月に開催しました。

### (二)運営委員会の開催

毎月一回開催し、九月、十一月の二回の緊急会議を開催しました。

### 四. その他

#### (一)危機管理マニュアルの徹底

・ヒヤリハット報告をサービスマン管理責任者の会議の中で行いました。

・苦情等への早急な対応が課題となりました。

・障害者虐待防止セルフチェックシートを活用し、業務の振り返りを行いました。

#### (二)啓発活動の推進

各事業所が、見学者、実習生、福祉体験、ボランティア等の受け入れを積極的に行い、事業所のお祭り、地域の公民館祭り、支援学校や高校・企業等各種団体などとの地域交流を積極的に進めました。

### (三)健康診断の実施

医師の巡回(月一回)、看護師の巡回(週一回)を定期的に実施しました。藤枝医師会検診センターを利用し、希望者のみ年一回の定期健康診断を行いました。

### 五. 防災対策の充実化

事業所ごとの防災訓練については毎月定期的に行っていますが、法人全体の情報共有の場である防災対策委員会を開催するには至りませんでしたので、平成二十七年にしっかりと繋げていきたいと考えています。

### 六. 緊急時マニュアルの徹底

インフルエンザ、ノロウイルス等について、県・市からの速報がメールで届きます。その都度、各事業所に情報の共有化と周知徹底を図りました。

西部すみれの家創設事業が完了しました。最終報告として西部すみれの家創設事業の収支決算の報告をいたします。

## 西部すみれの家創設事業最終報告

収 支 決 算 書			
区 分	収 入	区 分	支 出
国・県補助金	77,764,000	本体工事費	119,464,200
市補助金	10,000,000	外構工事費	10,692,000
設置者負担金	78,541,641	土地購入費	25,343,441
(内訳)		建設工事監理業務料	6,702,000
自己資金	58,541,641	備品一式	4,104,000
借入金	20,000,000		
合 計	166,305,641	合 計	166,305,641

## 平成二十六年 事業報告

◎東部すみれの家(生活介護) 生活介護単独事業所として再出発をするにあたり、支援内容の見直しと充実を課題に取り組みました。

・一人ひとりの表現力を生かす創作活動の推進を通して魅力的な作品や製品がたくさん生み出されました。

・「ふじのくに型サービス」を意識し、様々な人が集う交流活動を実施しました。

・送迎サービスを希望する利用者が週一〜二回利用できるように運行計画を立てて実施しました。

### ◎南部すみれの家(生活介護・就労移行・就労継続B)

次年度には新設事業所に就労移行サービスと就労Bの何人かの利用者が移ることを踏まえ、円滑な移行と支援内容の充実を課題に取り組みました。

・介護では月二回の体操教室などの体力作りが功を奏したのか、欠席者が少なく出席率九十七%でした。藤枝市の日中一時支援事業実施(延長利用サービ)スの要望が高く、次年度の実施を検討していきます。

・就労移行では二年目の利用者の職場実習の計画的な実施により就職者三名という実績を上げる事ができました。

・就労継続Bでは新設事業所への移行も見越して二社から新規下請作業を引き受ける事や園芸の新製品開発に努める事で目標工賃達成を目指しました。結果的には残念ながら達成できませんでした。

◎北部すみれの家(生活介護・就労継続B)

次年度には新設事業所に焼き菓子製造と就労継続Bの何人かの利用者が移る事を踏まえ、円滑な移行と支援内容の充実を課題に取り組みました。

・介護では一人ひとりの体力や、

興味関心などに配慮したグループ編成による生産・体験活動を通して達成感や満足感を得ることができました。次年度から移動支援が通所のための送迎に利用できなくなることから個々の実状に応じた実施が更に増えることが予想されます。

・就労継続Bでは新規の下請作業を引き受けることや焼き菓子の販路拡大をねらってエスパルスドリームプラザへの出店を試み、目標工賃達成を目指しました。バターの品不足が起きるなどもあり、残念ながら到達はできませんでした。

監査報告書

社会福祉法第四十条並びに社会福祉法人藤枝すみれ会定款第十一条に基づき、監査結果を報告します。

(一)事業報告書は、関連する法令及び通知に従い、事業の執

行状況は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

(二)財産目録は、関連する法令および通知に従い、財産は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

(三)貸借対照表は、関連する法令および通知に従い、資産と負債の状況は正しく示されており、不整

の点はないと認めました。

(四)資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関連する法令および通知に従い、収入と支出の状況は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

監査報告書

平成 27 年 5 月 15 日

社会福祉法人 藤枝すみれ会  
理事長 山本 利彦 様

田中 徳治 印  
王 了 凡 印

社会福祉法第 40 条並びに社会福祉法人藤枝すみれ会定款第 11 条に基づき、下記の通り監査結果を報告します

監

1 監 査 日 平成 27 年 5 月 15 日(金)

2 監査の種類 決算監査

3 監査実施者 田中徳治 三ノ尻 様

4 監査の内容 業務および会計監査

5 監査意見  
監査の結果、次のとおり確認と認められました。

(1) 事業報告書は、関連する法令および通知に従い、事業の執行状況は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

(2) 財産目録は、関連する法令および通知に従い、財産は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

(3) 貸借対照表は、関連する法令および通知に従い、資産と負債の状況は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

(4) 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関連する法令および通知に従い、収入と支出の状況は正しく示されており、不整の点はないと認めました。

## 西部すみれの家 『開所式』

平成二十七年四月十日(金)

西部すみれの家にて利用者、保護者、当法人職員、藤枝特別支援学校と焼津分校からの来賓の皆様をお迎えして『開所式』を開催いたしました。来賓ご祝辞の言葉で、藤枝特別支援学校、焼津分校のそれぞれの先生方よりとても暖かい励ましのお言葉をいただきました。開所式にむけて自分達で飾り付けも作っていた利用者は皆、真剣に祝辞を聞き、始まりの式典という事への思いを受けて気持ちの引き締まったお辞儀をしていました。そして利用者達が西部すみれの家で活動を行う新たな気持ちを「決意表明」として発表しました。

「シーラーを上手にやりたいです。」

「色んなお菓子が作れるといいなと思っています。」

「もっと早く仕事が出るよ

うに頑張ります。」

「仕事訓練、体力作りを頑張ります。集中して作業をします。」

「一日も早く就職出来るように頑張り、職場実習では上司の言うことを聞いて頑張ります。」

等、それぞれの目標や頑張る事を皆の前で一人ずつ述べました。利用者、職員共に新たな気持ちで頑張っていくますので暖かい応援をお願いします。



## 新しい仲間の紹介

藤枝特別支援学校の卒業生六名が平成二十七年四月一日から藤枝すみれ会に仲間入りをしました。南部すみれの家事活介護に二名、就労継続支援B型に二名、北部すみれの家就労継続支援B型に一名が入りました。刺し子が得意で休み時間に刺し子をきれいに縫いあげている人、好きなキャラクターがあつて職員に絵を描いて貰い絵本のようにきれいに塗りあげる人、大好きな雑誌をきれいに

折って大事にする人、自分の好きな絵を描く人、すぐに皆うちとける人と色々な個性が光る部分を持っています。昨年入られた先輩からも嬉しそうに迎えられ、しっかりと自分の居場所を作って日々過ごしていきます。

すみれの家活動を通して、そして仲間と過ごす事を通して日々共に成長していけるように、藤枝すみれ会の理念に基づいた「だれもが生き生きと、豊かに暮らせる社会をめざします」そんな支援をしていきたいと思っております。



一輪に寄り添うように咲いて一つになっているバラのように



## 新任職員紹介

平成二十七年四月一日より採用された六名の職員の初任職員内部研修が六月に行われます。「藤枝すみれ会が運営する事業所の活動を体験し、福祉事業サービスの理解を深める。自分以外の支援員の利用者さんへの支援から学び、今後に生かす」を目的として行いました。

採用から二カ月半ほど経過したそれぞれの思いをご紹介します。

### 東部すみれの家

やまぎきはるな  
山崎 遥那 非常勤職員



2種のシュナウザー犬を飼っています

「利用者・職員共に明るく、一人ひとりの個性があり、生き生きとした姿があります。良い所をもっと伸ばせるような支援をしていきたいと思っています。」

### 東部すみれの家

きむらひでこ  
木村 秀子 非常勤職員



趣味はクライマー

「職員は利用者をよく見て寄り添っていると思いました。年を重ねながら経験出来る事を一緒に立ち会わせて貰いながら、寄り添い、一緒に出来る事をやっていきたいと思っています。」

### 西部すみれの家

ふかざわただすけ  
深澤 忠輔 非常勤職員



フェレットを飼っています

「利用者・職員の立場関係なくお互い切磋琢磨していける関係を築けたらと思っています。利用者さんのくれる笑顔、利用者さんの目線に立って笑顔で返していけたらと思います。」

### 西部すみれの家

まつやまたかこ  
松山 貴子 非常勤職員



趣味はパン作り

「職員の配慮の仕方が勉強になります。個々の特性を見ながら一人ひとりに合ったサービスをし、一緒に勉強をして共に成長していきたいと思っています。」

### 南部すみれの家

かめやまじゅんこ  
亀山 純子 非常勤職員



趣味にジャグリングをやりま

「日々色々な経験をさせて貰っており、個々を伸ばしていきたいように、本人主体で動けるような支援をしていきたいと思っています。利用者の中にある温かいものを自分も持ち合わせたいと思っています。」

### 北部すみれの家

こおり  
桑折 ひさみ 非常勤職員



趣味は手芸です

「全体を見て個々の特性に合わせ、その時に応じた対応をしていくことを学びました。利用者さんと一緒に学びながら過ごしたいと思っています。」

現在、各すみれの家を体験する研修を行っております。どこの施設として同じものはなく、学ぶものも千差万別であると思います。一人一人の利用者がいて、それぞれの個性を支援していく支援者として、今までの経験を生かしながら新しい目で見えて感じたものをこれからの利用者支援に繋げていく事を期待しています。

## 地域との繋がり 「バザー販売」

すみれの家では各施設の特  
色のある自主製品を作り、販  
売しております。北部すみれ  
の家が高校生の体験学習を行  
っている清流館高校の文化祭  
の福祉コーナーにて六月六日  
に出店をし、西部すみれの家  
と北部すみれの家が販売をし  
てきました。六月七日は藤枝  
特別支援学校のお祭りに参加  
させて頂き、東部すみれの家  
と西部すみれの家が販売をし  
てきました。

両日共に天気にも恵まれお客  
様も多く、沢山の方に来てい  
ただけました。清流館高校で  
は「すみれの家」と分かるよ  
うな飾り付けを作って迎えて  
くれました。「いらっしゅいま  
せ。」「お菓子どうですか。」「お  
布巾どうですか」等の売りに  
に福祉課の生徒達が利用者と  
一緒になっている姿に連帯感  
があり『チーム』が出来てい  
ると実感しました。利用者も

お客様に対してお釣りや商品  
を渡すことを緊張しながらや  
り遂げ、自分達が作ったもの  
を選んで購入して貰える喜び  
を体感できました。地域の皆  
様に支えられている事に感謝  
をし、「この様な「生きた体験」  
を大事にしながら地域との繋  
がりをお大切にしていきたいと  
考えております。



藤枝特別支援学校のバザー



清流館高校文化祭のバザー

## 地域との繋がり 「静岡県庁へ」

南部すみれの家の自主製品  
のプラントナーを今年度も静岡  
県庁よりご依頼頂きました。  
雨の中の納品となりましたが  
お届けした時に県庁職員の皆  
様が温かく迎えてくれました  
。その後のアフターフォロー  
にお伺いした時も「ありが  
とう。きれいでにぎやかにな  
ったよ。」と声を掛けていた  
頂きました。その言葉で利用者  
も職員も、とても嬉しくなり、  
お花の手入れも楽しく行って  
くることができました。そう  
いった皆様との繋がりにとて  
もありがたい気持ちでいっぱ  
いです。



心がこもったお手入れをしました

## 地域との繋がり 「お花のくす玉」

藤枝市田中在住のご夫婦が  
折り紙で作っているお花  
のくす玉。色鮮やかとても精  
巧に作られているその「お花」  
は福祉施設や幼稚園などへ配  
られております。すみれの家か  
ら広く社会に差し上げて欲し  
いというご夫婦の願いの元、サ  
ロンの方との触れ合いの場な  
どでプレゼントしています。皆  
様にとても喜ばれ、その事をお  
伝えすると更にまた作って届  
けてくださっています。ご夫婦  
にとっても「喜ばれる」という  
事が「生きがい」に繋がってい  
ると感じており、「喜びの連鎖」  
が広く社会に広がるように願  
います。



部屋を明るく彩っています

# TOPICS

東部すみれの家 和紙ラベル  
北高校と「三波」レーション

東部すみれの家は福祉の実践、教育の場の提供の一つとして藤枝北高校との交流を行っております。藤枝北高校生が採取した天然の「糶菌」で杉井酒造様が製造した「志太天然糶菌仕込みの純米酒」をこの度、東部すみれの家の自主製品の和紙ラベルを貼っての限定販売を行いました。東部すみれの家だけでも限定一〇〇本の販売となり、ご購入頂きました方にはお礼を申し上げます。ありがとうございます！地域に周知していく大事なプロジェクトに参加させて頂いていただく機会を得ることが出来た事は東部すみれの家としても地域発信のステップアップとなりました。和紙商品は使用済みパックからピニール取り↓かくはん↓原紙漉き↓紙ちぎり↓本番漉き等の工程があり、利用者それぞれ

が自分の担当を生き生きと行っています。注文を伝えると利用者からは手を叩いて「おうっ」との声があり、『注文に応えよう』『頑張ろう』という自尊心が見られるようになっていきます。それらを育みながら生産活動に繋がっていく喜びを継続していきたいと思っています。



ひとつの物を作りあげる達成感

東部すみれの家  
芸術活動 水族館の巻

「ふじのくに型サービス（高齢者の介護サービス基盤を活用し、高齢者に加え、障害者、児童など年齢や障害の有無に

関わらず垣根なく福祉サービスを提供できるようにする）」の思いを汲んだ活動を取り入れております。その流れの一環でも行った創作活動。

講師をお招きして「芸術活動」として自分の思いを表現できる「ものづくり」を展開しています。今回は海の生き物を貼り絵で作成しました。一つひとつは個々の主張をしています。一つひとつのテーマの中に取り入れると不思議と一体化した作品になりました。その協調感はまだで東部すみれの家の仲間のような感じます。季節ごとに飾りますのでご覧になってください。



水族館の完成・仲間との一体感

西部すみれの家「三波」回収訓練  
就労移行支援事業の一環



手順表を確認して受取ります

就労移行支援事業では、働くために必要な知識や能力、身だしなみ、挨拶をはじめとしたビジネスマナーを身につける職業訓練を行っています。今年度より就労移行ではゴミ回収訓練をスタートし四事業所のゴミを回収します。目的として企業で働く上での一番のマナーである「挨拶」がきちんと出来る、手順表を見て作業が出来るようになる、記録簿を記入する等を行って作業を進める力をつけたいというねらいがあります。それらは、日々の積み重

ねで定着していくものであり、言われたからすべにできるものではありません。自分のものにしていくために繰り返し行っています。

### 西部すみれの家 焼き菓子販売中！

真新しい調理室で焼き菓子事業が稼働しています。新しいオーブンに新しい調理器具、そして専用のロッカーでコックコートに着替える事も嬉しい様子の利用者達。清潔感溢れる新しい場所での焼き菓子作りは利用者も職員も緊張を伴いながら始まりました。今まで北部すみれの家で焼き菓子作りに携わってきた利用者も少しずつ慣れ、今まで行えなかった事が出来るようになってきました。これは新しい環境でのプラスの表れです。

焼き菓子事業への関心は沢山の利用者が持っており、「いつ作ることに参加できるか。」

という問いかけや休憩時間の度に調理室を見に来る利用者から、関心の高さが窺えます。初めて参加する利用者に「焼き菓子体験」を行うことで利用者のモチベーションが上がってきました。支援向上の為に職員の研修も行っており、以前より教えて頂いている西洋菓子シフォン様のパティシエを講師としてお招きして、温度や工程の見直しなど学びました。それにより更においしい焼き菓子へとパワーアップ。どうもありがとうございます！心のこもった手作りの焼き菓子を作って行きたいと思っていますのでご注文をお待ちしています。



お菓子作りは楽しい！

### 南部すみれの家 働く喜び（志太紙業様）

生産活動の機会の提供として生活介護で株式会社志太紙業様からCDとDVDの解体作業を請け負いました。内容としては使われなくなったCDとDVDの分別作業です。袋の開封やビニールを取った後、DVDと紙と入れ物に分類します。破くのが好きな利用者はビニール外しを、DVDが大好きな利用者はDVDの取り外しを担当し、工程を分担することで個々が一つに集中でき、協力し合った生産活動となりました。「工賃で本



丁寧なレクチャーに真剣

を「買いたい」等、明確な目的があって頑張っている利用者もいます。「働く」とは「人の為に動くこと」という意味合いも言われていて「人の役に立つこと」が「人に愛される」ことへと繋がっていくのではないのでしょうか。他者に認められるということは生きがいと言えますので自己肯定、他者肯定の場として活用したいと思えます。



手順を覚えて集中しています

### 南部すみれの家 陶芸教室 集中する訓練

六月十日に藤枝市の陶芸家・前田直紀さんを講師にお招きして陶芸教室を行いました

た。一四年間陶芸に携わり、世界六ヶ国で展示会を行っている方です。

陶芸は陶芸セラピーとして「リラククス効果、ストレス解消、集中力の向上」などが上げられています。脳を活性化させ、指先の運動にもなり、身体のリハビリ効果なども期待されています。前田先生の優しい教え方に皆も安心して取り組み、個々の素直な感性が表れた作品になりました。焼き上がったら自分の茶器でお茶教室を開催する予定です。



自己表現の作品「器」を作る

### 北部すみれの家 布巾作り ミシンに挑戦

北部すみれの家の自主製品として「ステンシル布巾」を作っております。ミシンで縫う作業は正確さと根気がいるものです。「まっすぐに縫う」ことは簡単ではありません。現在はミシンで縫う人を増やしていこうと、新たに挑戦している利用者がいます。最初は雑巾を縫い、小さい布巾を縫い、本番へと進めていきました。縫う部分に印をつけ、見本を真似ながら、正確にまっすぐ縫っていきます。

丁寧な性格の利用者なので本人の適性に合った作業であり、それを見つけていくのも支援者の仕事であります。

一枚縫うとひと息を入れるという本人のペースを守りながら無理のないように進めています。本人の能力を引き出す

せるような、自信に繋がるものにしていききたいと思っています。



適性に合ったミシン縫い作業



新作が続々出来あがっています

### 北部すみれの家 調理実習 フードドライブ

新しいメンバーも加わって就労継続Bで調理実習を行いました。以前カーブス様より



協力して担当しています

フードドライブで頂いた食材を中心に、ミートスパゲッティと野菜スープの献立です。

「自分で出来る事を増やす」支援として包丁を使って野菜を切りました。自分で作って食べることは「食の自立」と「食育」に繋がります。実際に給食は残しても調理実習では残さないというデータが一般的に得られています。

そして仲間と協力をする大切さを学び、仲間との時間を楽しみながら残すことなく完食。カーブス様に感謝をしながら食べました。

## キックオフの会 ～平成二十七年度の始まり～

平成二十七年度の始まりの会の「キックオフの会」が四月十七日（金）に藤枝市の学習センターにて開催されました。利用者・保護者・職員が集まる年度始まりの式典として、利用者もとても楽しみにしている式典です。

十年表彰、二十年表彰の利用者達は皆の前に出て理事長より表彰状をいただく時の「嬉しい緊張」が伝わってきました。藤枝特別支援学校を卒業したての新しい利用者六名の紹介、新任職員六名の紹介もありました。式典ということでの緊張感の中、今年度の司会進行は東部すみれの家利用者が行いました。各施設の出し物としてハンドベルやダンス、大きなカブの劇、決意表明の発表をそれぞれ披露し合い、日々練習していた成果が表れている内容に会場が盛り上がりました。皆で作ったキックオフの会は会場が一体化し、素晴らしいスタートをきれました。ご出席頂いた皆様  
に感謝いたします。



## 今月の最高の一枚

『民生委員さん、ありがとうございます！』

各地区の民生委員の皆様より「東部すみれの家」「南部すみれの家」「北部すみれの家」へそれぞれに御寄附を頂きました。各施設共に納涼祭やクリスマス会など利用者が楽しむ会に使用させていただきましたと思います。ありがとうございます。日頃からボランティアという形で各すみれの家に来て利用者達とお話しをしたり、一緒に活動をしてくださったりと時間を共有して過ごしていただいております。温かい対応に利用者もとても安心をしております、民生委員の方々がお見えになると元気な利用者は大きな声で「こんにちは！」と挨拶をしている姿があります。恥ずかしがり屋な利用者は姿を見て確認。

話かけてくれるのを待っている利用者も、民生委員の方々のそれぞれの想いがこの写真にも表れているかと思えます。この温かい関係を大切にしていきたいと思いますので今後共よろしく願います。



編集後記

「家族・団欒」

この時期に咲く花に「紫陽花（あじさい）」があります。あちらこちらで目にするのではないのでしょうか。色も様々ですが種類も豊富で三、〇〇〇種以上あるようです。日本の花言葉は「一家団欒」「家族の結びつき」というプラスのイメージ。小さな花の集まりからもそんな印象を感じます。すみれの家にも鮮やかに咲いており、まるで利用者、職員、藤枝すみれ会の雰囲気のように感じました。一人ずつの「個性」、それが集まると紫陽花のような「家族」になるのではないのでしょうか。これからいっつもある「家族」を大事に育てていきたいと思えます。

広報担当 K・O